

阿南一中通信 2022

No.6

7月7日

発行責任者

西山 稔江

この度、小松島市小松島小学校より、7月1日付けで赴任することとなりました、西山稔江です。阿南第一中学校は、教員となり初任者として勤務した学校でもあり、多くの先生方にお世話になったとても印象に残っている学校です。秋にはイチョウ並木が黄金色に輝き、地域の人たちが銀杏を拾いに来ていた姿が、今でも浮かんできます。縁あって再びこの学校で勤務できることに感謝し、みなさんと共にこの阿南第一中学校を素晴らしい学校にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

赤ちゃん授業が開催されました



3年生を対象に「赤ちゃん授業」が開催されました。妊婦さんを体験するため、重りをつけて、歩いてみたり、赤ちゃんの人形を抱っこしてみたり・・・。こわごと、でも、とても慎重に抱いている姿を見て、みなさんが将来、新米パパやママになる姿を想像しました。

その後のビデオでは、産まれて間もない赤ちゃんの小さな成長に、喜びを感じているお母さんの笑顔がありました。10数年前、みなさんの家族も、同じ笑顔でみなさんのことを見守っていられたと思ひます。

命はみなさんのものではありませんが、みなさんだけのものではありません。みなさんのことを大切に見守り、育ててくれた家族や周りの人たちのものでもあるのです。今日感じた命の重みを忘れず、一つしかない命を思いっきり輝かせてほしいと思ひます。



一中のあいさつは背中から聞こえる・・・

放課後、校舎内を歩いていると、部活動をしている人たちから、背後より「こんにちは」と、とても大きな声をかけられ、最初は驚いていました。振り返り、「こんにちは」と返すと、笑顔で通り過ぎていきます。そのようなことが数日続き、やっと最近慣れてきました。

相手が気づいていなくても、あいさつをする・・・声をかけられた方はとても気持ちがよいものです。さらに元気なあいさつを返したくなります。あいさつはコミュニケーションのスタートでもあり、人と人を信頼関係で繋いでくれるものだということ、改めてみなさんから教えてもらいました。